

令和 8 年度 特色選抜合否判定基準

沖縄県立泊高等学校

定時制課程 夜間部

1. 特色選抜入学定員：8名以内 [募集定員40名の20%以内]

2. 求める生徒像

【求める生徒像（アドミッションポリシー）】

- これまでの自分を乗り越え、可能性を伸ばそうとする前向きで意欲のある生徒
- 自分の個性やペースを大切にしながら学びを進め、しっかりと学力を身につけようと努力する生徒
- 仕事と学業を両立させ、目標を持って学校生活に臨むことができる忍耐と熱意のある生徒
- 本校を再出発の場と考え、前の学校での学びを大切にしながら自己実現を目指す強い意志を持った生徒

【選抜において重視する観点】

- 基本的な生活習慣を身に付け、基礎的な学力を有している生徒。
- 自己実現を目指す強い意志を持ち、入学後しっかりと学力を身につけようと努力する生徒。
- 生徒会活動、文化活動、スポーツ活動、課外活動等において実績をあげた生徒。

3. 合否判定の方法

特別選抜については、学力検査、調査書および独自検査に基づいて、求める生徒像に照らし、選抜において重視する観点に立って総合的に判断し、合否を決定する。各項目の配点は以下のとおりとし、総合点を495点満点とする。

- ①学力検査：50点満点×5教科＝250点満点
- ②調査書：(ア)教科の評定の合計 165点満点(5教科以外は1.5倍)
(イ)特別活動等の実績 50点満点
- ③独自検査：面接 30点満点

4. 判定基準

総合点の得点順および別途定める審議事項を踏まえ、次の各圏により審議を行う。

- A 圏：総合点上位8名以内の者で、審議事項に抵触しない者
- A' 圏：総合点上位8名以内の者で、審議事項に抵触する者
- B 圏：A圏およびA'圏に含まれない者の内、審議事項に抵触しない者
- B' 圏：A圏、A'圏、B圏以外の者

5. 審議事項

- (1) 勤怠状況が3か年の合計で、事故欠が20日以上のある者
※事故欠とは、病欠以外の届欠席＋無届欠席
- (2) 内申評定平均または学年の評定に問題があると考えられる者
- (3) 学力検査の点数が著しく低い者
- (4) 面接の点数が低い者
- (5) 調査書の所見欄等の記載に問題があると考えられる者
- (6) 当日の問題行動等がある者
- (7) 学力検査または面接に不受検がある者